

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路地区体育館		No.	130
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	廃止予定のため

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	開始前
『該当する』を 選択した理由	昭和45建築の老朽化した体育施設は、廃止が妥当と判断する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027 年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	廃止については、まちづくり定住課、馬路まちセン職員と協議。		2024年3月 新馬路まちづくりセンター竣工
第2期	2024年度	用途廃止に向けた協議	目標未達成（取組中） 現在は、使用を中止し地域の祭事用品等の物置として活用している。館内の備品類の撤去について、引き続き協議を行う。
	2025年度	旧馬路まちづくりセンターの解体と併せて実施するための協議を行う。（公適債を活用）	目標・取組を達成 解体にむけた予算要求を行った（R8設計、R9解体工事）。館内に地域行事で利用する備品や古民具等を所管課と協議を行った。
	2026年度	解体に向けた設計実施 館内にある備品等の移動等を実施	

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和45年
建物延面積	578.17 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	標高10mライン以下

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、大田市体育施設（公園施設であるものを除く。）の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため、大田市体育施設を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 現施設は廃止が原則

【施設写真】



(2)収入・支出

		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
収入		①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
		②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
		③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
		合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
支出		①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
		②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
		③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
		支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標		税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
		延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津地区体育館		No.	131
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	廃止予定のため

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	開始前
『該当する』を 選択した理由	当該施設は、昭和55年に建設された施設で老朽化も進んでおり、外壁の一部も破損している。体育施設としては、平成28年より未利用であり、「廃止」が妥当と判断している。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	すでに老朽化が進み、体育館としての一般開放は休止している。		ピアノの再利用には引取り費用が掛かり、体育館解体と同時に処分したほうが費用がかからないことが判明。
第2期	2024年度	解体に向けた協議	目標未達成（取組なし） 学校施設の解体も併せて協議が必要
	2025年度	解体に向けた協議	目標未達成（取組なし）
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	532.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接。運動場の一部は土石流の警戒区域

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、大田市体育施設（公園施設であるものを除く。）の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため、大田市体育施設を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 現施設は廃止が原則。

##### 【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田地区体育館		No.	132
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	調整中
『該当する』を 選択した理由	当該施設は昭和45年に建設された施設であり、耐震未診断で劣化状況度得点も100点となっており、体育施設として利用中止することが望ましい。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	現状と今後について地元説明を実施。		これまで当該施設は、地元の行事（運動会、文化祭、老人会等）で利用され、避難所としても指定されているため、地元住民からは当該施設を継続利用したいとの要望が出ている。
第2期	2024年度	用途廃止に向けた協議	目標未達成（取組なし） 地区の避難所としての観点からも地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
	2025年度	用途廃止に向けた協議	目標未達成（取組なし）
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和45年
建物延面積	559.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、大田市体育施設（公園施設であるものを除く。）の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため、大田市体育施設を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 現施設は廃止が原則。

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	24,000円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		24,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	98,415円	電気代、建物共済費、管理委託料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		98,415円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-74,415円	市民一人あたり税金充当額	-2円/人
	延床面積あたり税金充当額		-133円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-204円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	82	232	233	359	365	254	143%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市民会館		No.	133
大分類	01市民文化系施設			
小分類	市民会館			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	-	今後の 策定予定の有無

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	平成23、24年度に耐震補強工事を行ったが、施設や設備の老朽化・劣化が進んでおり、今後10年間程度で使用できなくなることが見込まれている。市の文化・芸術振興の拠点となる施設であることから人口動態、複合化などを考慮しながら適切な機能規模となる施設整備が必要である。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2031 年度以降		←塗りつぶし使用色					

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	大田市民会館および大田市民センター関係者（所管課、指定管理者、施設内事業者）を集めた協議（現状の把握、問題点の整理等） 市民会館及び市民センター共用部分の修繕。部内において整備の方向性の決定。庁内の市民センター関係者を集め、今後の施設の在り方についての情報共有。		複合施設であるため、市民会館単独での方針決定とはならない。市内にある「あすてらす」や「サンレディー大田」などの類似施設も考慮する必要がある、市として方針決定をすべき案件である。市民会館の整備の方向について、庁内での協議・検討を進める必要がある。
第2期	2024年度	目標未達成（取組中）	類似施設のサンレディー大田の廃止に伴い、市民会館3階を生涯学習エリアとして令和6年4月に利用を開始した。一方で、市民会館の老朽化、設備の更新により修繕等が多くなっている。個別施設計画策定のため、施設の劣化状況や設備更新の優先度等の調査を行い、施設整備の方向性を定める。
	2025年度	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和38年
建物延面積	4,420.74 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	-
摘要欄	指定緊急避難場所の災害別区分：洪水×

関連条例等	大田市民会館の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	市勢の発展を図り、市民の福祉増進に寄与するため、市民集会の場として大田市民会館（以下「会館」という。）を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入		なし	施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金		なし	国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	669,595円	行政財産目的外 使用食堂光熱水	使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		669,595円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	61,164,600円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	21,819,564円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		82,984,164円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-82,314,569円	市民一人あたり税金充当額	-2,640円/人
	延床面積あたり税金充当額		-18,620円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-225,519円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	22,834	30,955	34,729	56,011	56,908	40,287	141%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市民第2球場（管理棟）		No.	134
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋外スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	今後の方向性が確定してから判断する

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	当該施設は昭和55年に建設された管理棟であり、耐震未診断で劣化状況度得点も100点となっている。現在施設を利用している団体等（第二中学校含む）との協議を経て方針を決定する。球場はそのまま継続して使用する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	老朽化はみられるものの使用に支障をきたす状況ではない。		照明塔、スコアボードの建屋、キュービクルは使用していないが、撤去費用の確保が難しい。また、ダッグアウトも老朽しているので併せてあり方の検討が必要である。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	老朽等により使用できない照明塔、スコアボードの建屋、キュービクルの撤去費用の確保。今後も使用予定の管理棟、ダッグアウト等の修理・検討が必要である。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	213.90 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	'平成15年に大田勤労者体育センターから移譲を受け、スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため、大田市体育施設を設置された。
適正化計画上の実施方針	個々に必要性を検討する。

##### 【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	17,040円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		17,040円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	100,000円	トイレ修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	218,043円	消耗品、電気、 業務委託料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		318,043円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-301,003円	市民一人あたり税金充当額	-10円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,407円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-825円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	7,056	6,490	8,533	7,766	7,726	7,514	102%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	上村会館		No.	135
大分類	01市民文化系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
『該当する』を 選択した理由									

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
	これまでの取組状況			
第2期	2024年度			
	2025年度			
	2026年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和21年
建物延面積	178.00 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接

関連条例等	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第1項の規定に基づき、地域住民の生活、文化の向上を図るため、大田市小規模集会所(以下「集会所」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	地域移管とする。

##### 【施設写真】

※写真無し

## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧井田公民館		No.	137	担当部署名	教育部社会教育課	
大分類	02社会教育系施設						
小分類	その他						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	廃止のため	

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	開始前
『該当する』を 選択した理由	井田小学校統合前は「民具の館」として児童の校外学習に活用されていたが、現在は利用のないまま閉館、放置されている。近隣のまちセンも長年利用していないため廃止可能と判断したもの。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	館内整理								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	屋内収蔵品の確認・整理		専門的な知見を有する者に保存が必要なものの選別を行ってもらう必要がある。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	収蔵品の廃棄と施設の解体
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和51年
建物延面積	157.50 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	廃止とする

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津会館		No.	150
大分類	02社会教育系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし 策定しない場合 理由

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	合意済
『該当する』を 選択した理由	現在地元団体が管理者となり管理・運営を行っている。地元団体と協議の結果、令和5年3月31日まで指定管理を延長後、廃止することで合意。 令和5年3月31日をもって用途廃止済。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	用途廃止		地元団体へ廃止か地域移管への方向性を説明し、地域住民の意見の取りまとめを依頼した結果、廃止で合意。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	重伝建地区であり、解体後の土地について関係課との協議が必要。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和57年
建物延面積	206.86 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	急傾斜警戒区域

関連条例等	小規模集会所設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	市及び地域住民が行う生活文化の向上に係る行事に使用するため設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万コミュニティセンター		No.	159
大分類	02社会教育系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	廃止のため

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	調整中
『該当する』を 選択した理由	地元団体が管理者となり管理・運営を行っていたが、地元団体と協議の結果、令和5年3月31日まで指定管理を延長後、廃止することで合意。 令和5年3月31日をもって用途廃止済。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	地元指定管理団体との協議の結果、2020年度末に廃止。		財産処分にあたっては同一筆にある銀の道商工会と協議が必要。
第2期	2024年度	解体に向けての協議 目標未達成（取組なし）	財産処分にあたっては同一筆にある銀の道商工会と協議が必要。
	2025年度	解体に向けての協議 目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和58年
建物延面積	369.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市仁万コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地域社会の拠点として広く活用し、地域産業の振興及び地域連帯意識の高揚と生活文化の改善により健康で文化的な地域づくりに寄与するため
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田陸上競技場（倉庫）		No.	160
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋外スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	当該施設は平成5年に建設された管理棟であり、施設を利用している団体等（第二中学校含む）との協議が必要である。高跳び用マットやハードルなどのスポーツ用品を格納するために、必要規模の立替が必要と考える。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	2020年4月から第4種公認の条件が緩和され、不用となった用具が発生している。競技場倉庫を有効に活用するため備品の整理を行う。		第4種公認を継続するか、公認を取らずに運動場とするか方針を決めることが必要。公認を取らない場合、公式記録を他市で大会を開催するための費用が発生する場合もある。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	競技場倉庫を有効に活用するため備品等の整理を行う。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	72.00 m <sup>2</sup>
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	公認競技場である大田市立第2中学校陸上競技場における大会本部運営及び競技用具の収納のため。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里地区体育館		No.	363
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	今後の方向性が確定してから判断する

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	旧湯里小学校に付属していた施設であり、校舎は湯里まちづくりセンターとして活用されている。もともと一つの施設であったもの(同一敷地内)を課で分割しての管理は煩雑になるため、湯里地区運動場と合わせて、今後の方向性を協議する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する。		令和2年度において単独浄化槽に亀裂が見つかり現在使用ができない。県の砂防ダム工事に支障移転の必要がありその際に修繕を行うことが好ましい。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	令和2年度において単独浄化槽に亀裂が見つかり現在使用ができない。県の砂防ダム工事に支障移転の必要がありその際に修繕を行うことが好ましい。
	2025年度	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	680.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	土石流警戒区域、急傾斜地の崩壊警戒区域

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	19,350円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		19,350円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	34,100円	ガラス補修	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	73,920円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		108,020円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-88,670円	市民一人あたり税金充当額	-3円/人
	延床面積あたり税金充当額		-130円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-243円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	2,009	2,114	1,666	1,802	1,846	1,887	97%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代地区体育館		No.	364
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	旧大代小学校に付属していた施設であり、校舎の活用と合わせた利用・管理が求められる。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	庁内関係課で今後の方向性を協議する。		地区の避難所としての観点からも地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	地区の避難所としての観点からも地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	1,180.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

##### 【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	11,700円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		11,700円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	73,920円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		73,920円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-62,220円	市民一人あたり税金充当額	-2円/人
	延床面積あたり税金充当額		-53円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-170円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	341	354	266	653	314	385	81%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	富山地区体育館		No.	365
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	東部
地区	富山

改定・見直し 時期	
策定しない場合 理由	今後の方向性が確定してから判断する

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	旧富山小学校に付属していた施設であり、校舎は富山まちづくりセンターとして活用されている。もともと一つの施設であったもの(同一敷地内)を課で分割しての管理は煩雑になるため、富山地区運動場と合わせて、今後の方向性を協議する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2026年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する。		地区の避難所としての観点からも地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	地区の避難所としての観点からも地区運動場も含めて、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	1,192.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入	16,950円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計	16,950円		※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用	220,000円	トイレ修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他	73,920円		上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計	293,920円		※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額	-276,970円	市民一人あたり税金充当額	-9円/人
	延床面積あたり税金充当額	-232円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-759円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	810	1,111	1,048	675	650	858	75%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩伝統芸能伝承館		No.	366
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	仁摩
地区	宅野

改定・見直し 時期	
策定しない場合 理由	今後の方向性が確定してから判断する

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	②③で該当がなければ、①の選択が妥当と判断している。 避難所としての役割、地元の伝統芸能の伝承する施設等、スポーツ施設だけでない側面も大きい。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2026 年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	庁内関係課で今後の方向性を協議する。		地区の避難所としての観点からも、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	地区の避難所としての観点からも、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	756.00 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	標高10mライン以下

関連条例等	大田市伝統芸能伝承館の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地域における伝統芸能を受け継ぎ後世に伝える活動を通じ、後継者の養成と郷土愛を育む場として、又住民の健康づくりを通じた交流の場として活力ある地域づくりに寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	100,900円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	7,500円	電柱電線	使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		108,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	379,810円	電気、ガス、灯油、管理委託料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		379,810円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-271,410円	市民一人あたり税金充当額	-9円/人
	延床面積あたり税金充当額		-359円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-744円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	1,819	1,347	1,685	2,207	2,546	1,920	132%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩文化振興会館		No.	367
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋内スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	仁摩
地区	大国

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	○未決定	開始前
『該当する』を 選択した理由	②③で該当がなければ、①の選択が妥当と判断している。 避難所としての役割、地元の伝統芸能の伝承する施設等、スポーツ施設でない側面も大きい。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	庁内関係課で今後の方向性を協議する。		地区の避難所としての観点からも、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	地区の避難所としての観点からも、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	838.70 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市文化振興会館の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地域における文化を受け継ぎ後世に伝える活動の場として、又住民の健康づくりを通じた交流の場として、活力ある地域づくりに寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

##### 【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	248,850円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		248,850円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	372,319円	電気、音告、管理委託料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		372,319円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-123,469円	市民一人あたり税金充当額	-4円/人
	延床面積あたり税金充当額		-147円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-338円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	4,262	4,458	3,972	2,995	2,681	3,673	72%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市立中央図書館		No.	369
大分類	02社会教育系施設			
小分類	図書館			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	-	今後の 策定予定の有無

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	⑤複合化	調整中
『該当する』を 選択した理由	令和7年6月末をもって温泉津図書館を閉館し、仁摩図書館へ統合した。今後は当面の間、市内2館体制で運営する。将来的に中央図書館と仁摩図書館を統合させる可能性も考えられるが、現時点では未定。中央図書館空調設備更新工事を2020(令和2)年度実施、照明器具取替及び2階回廊改修工事を2021(令和3)年度実施。市役所新庁舎建設に伴い、社会教育課事務所を中央図書館内に移転する可能性があり、調整中である。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度				←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	R2~3年度に大田市中央図書館環境整備事業(空調設備更新、照明器具取替、回廊等改修)を実施。市民に対し、安全安心な読書環境の提供を行う。		これまでに計画的な修繕が行われていないため、各所に不具合が見られる。
第2期	2024年度	目標未達成(取組中)	修繕が必要な箇所の洗い出しを行った結果、中庭回廊など、大規模な修繕が必要な箇所が判明したが、対応できなかった。
	2025年度	目標未達成(取組中)	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	2,581.82 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	浸水地域

関連条例等	大田市立図書館設置条例
設置(目的等)	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究、レクリエーション等に資するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	2,800円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金		なし	国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	434,446円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		437,246円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料		なし	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	411,810円	修繕料	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	52,154,638円	人件費+蔵書整備費+管理運営	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		52,566,448円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-52,129,202円	市民一人あたり税金充当額	-1,672円/人
	延床面積あたり税金充当額		-20,191円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-142,820円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	417	720	610	733	853	666	128%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市立仁摩図書館		No.	370
大分類	02社会教育系施設			
小分類	図書館			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	-	今後の 策定予定の有無

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	○現時点で検討不要(将来の検討)	開始前
『該当する』を 選択した理由	令和7年6月末をもって温泉津図書館を閉館し、仁摩図書館へ統合した。仁摩図書館の生涯学習センター機能は継続する。雨漏り対策としての屋根改修及びESCO事業により照明器具取替を2024(令和6)年度実施。2025(令和7)年度には空調機器の更新を行うも、建物の老朽化が進んでおり、計画的に優先順位を付けながら改修が必要である。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	温泉津図書館を閉館し、仁摩図書館に統合した。		公共施設適正化計画策定への取組について検討。
第2期	2024年度 これまで計画的な修繕等が行われてこなかったため、設備の状態の把握に努めた。雨漏り対策としての屋根改修及びESCO事業を実施するとともに、空調改修工事にとりかかるなど、大規模な改修を行った。	目標未達成（取組中）	設備の状況把握が完全には出来ておらず、計画的な修繕の見通しが立てられなかった。
	2025年度 2024年度に引き続き、空調改修工事を行った。 今後、長寿命化計画をたてる必要がある。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	978.75 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市立図書館設置条例
設置(目的等)	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究、レクリエーション等に資するため
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

##### 【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入		なし	施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金		なし	国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	229,882円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		229,882円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料		なし	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	26,644,200円	修繕料+生涯学習センター改修	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	23,861,682円	人件費+蔵書整備費+管理運営	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		50,505,882円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-50,276,000円	市民一人あたり税金充当額	-1,612円/人
	延床面積あたり税金充当額		-51,368円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-137,742円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	373	528	530	440	422	458	92%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田運動公園		No.	371
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋外スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	西部
地区	鳥井

改定・見直し 時期	
策定しない場合 理由	今後の方向性が確定してから判断する

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	大田運動公園の駐車場トイレは、現在、男子トイレの便槽が、土圧により変形、地下水が流入するので使用禁止とし、多目的トイレで代用していたが、R5年度にトイレの修繕を行った。 多目的広場の管理棟は、H26に建築されたもので、当面問題はない。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	駐車場トイレの修繕を実施。		駐車場トイレの修繕を行い使用可能となり、ハード面の問題はなくなったが、津波発生時の地区の避難所としての観点からも、庁内関係課で今後の方向性を協議する必要がある。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	大田運動公園の鍵を危機管理課に預け、災害時に迅速に対応できるようにした。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成11年
建物延面積	203.92 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

##### 【施設写真】



駐車場トイレ



多目的広場管理棟

## (2)収入・支出

	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	172円	自動販売機	使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		172円	※グレーのセルは自動計算されます。	
	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
支出	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	77,880円	AEDリース	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		77,880円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-77,708円	市民一人あたり税金充当額	-2円/人
	延床面積あたり税金充当額		-381円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-213円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	5,509	5,432	6,558	5,300	4,180	5,395	77%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津プール建物		No.	372
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋外スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし 策定しない場合 理由

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	開始前
『該当する』を 選択した理由	現在も施設の利用は行われていない。民間移管、地域移管には該当しないため廃止として判断する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	用途廃止		条例改正済
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	学校施設の解体も併せた協議が必要。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和61年
建物延面積	73.13 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全なる発達に寄与するため。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	祖式社会体育施設管理棟		No.	373
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	屋外スポーツ施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部社会教育課
ブロック	高山
地区	祖式

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管	開始前
『該当する』を 選択した理由	用途が祖式地区の体育祭のための倉庫であるため。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	地域住民等と地域移管について協議。		地域住民等と地域移管について協議。
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	地域住民等と地域移管について協議。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	19.20 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	地域運動器具収納のため
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							